

岐阜信金が地域交流拠点

柳ヶ瀬に隣接、イベントなど活用

G's Dreamのオープニング式典でテープカットをする関係者。3日午前8時57分、岐阜市神田町(撮影・坂井萌香)



岐阜信用金庫(岐阜市)は3日、創業の地である同市神田町の旧若宮町支店跡地に、地域のにぎわい交流

拠点「G's Dream(ジーズ ドリーム)」をオープンした。金融業務窓口は置かず、1階にはコンサー



オープンしたにぎわい交流拠点
G's Dream

トなどができるフロアを配置。「地域・人・企業の夢を創り叶える場所」をコンセプトに、市民が気軽に参加できるイベントなどを開催し、隣接する柳ヶ瀬エリアを中心とした市中心部のまちづくりの一翼を担う。

【関連記事21面に】

創立100周年事業の一環で整備。施設は、鉄骨3階建てで、延べ床面積886・56平方メートル。県産材をふんだんに使った木質感漂う空間に仕上げた。屋上には

太陽光パネルを設置し、環境にも配慮した。職員5人が常駐する。

1階は、コンサートや絵画展など地域住民らが気軽に参加できる公共空間とし、まちのにぎわいを創出する。2階では相続や年金などに関する各種セミナーやビジネスマッチングを行い、ライフプランニング支援など個人や事業者の個別相談も受ける。3階は職員の交流促進を目的に、情報交換や研修に活用する。

3日はオープニング式典が行われ、好岡政宏理事長が「岐阜のまちづくりを担い、柳ヶ瀬エリアを盛り上げていきたい」とあいさつ。関係者がテープカットして、施設の船出を祝った。

同金庫の前身は、1924年に設立された二つの信用組合で、40年の合併で岐阜信用組合が誕生し、ジーズドリームの場所に本店を構えた。65年に若宮町支店(当時)となった。

(玉田健太)